

2026年6月26日

## 「巨樹・古木の診断イベント」実施について

大樹生命保険株式会社（代表取締役社長 原口 達哉、以下「当社」）は、一般社団法人 日本樹木遺産協会（代表理事 森 義仁）への協賛を通じ、地域の財産である巨樹・古木の保全に取り組んでいます。

今般、2026年5月に（一社）日本樹木遺産協会による巨樹・古木の診断イベントが実施されましたので、お知らせします。

診断イベントは、東京都あきる野市にて行われ、さまざまな世代の方が参加されました。樹齢300年以上の「大榎」について、参加者は樹木医の説明を聞きながら、樹木の状態や周辺の環境を調べました。現時点で顕著な腐朽は確認されませんでした。樹齢が高い樹木は、適切な管理が行われない場合、腐朽が進行する可能性があります。

希少な巨樹・古木を次世代に引き継ぐため、当社は、（一社）日本樹木遺産協会への協賛を通じ、樹木医による定期的な診断・治療を実施します。

当社は今後も、社会の一員として豊かな社会の実現につながるよう、地域に根ざした社会貢献・環境保護活動に努めてまいります。



大榎



診断イベントの様子

以上